

日本生産性本部 生産性シンポジウム 事例紹介

ダイキンのDX人材育成

Copyright (C) 2021 DAIKIN INDUSTRIES, LTD.,

2022年2月16日

ダイキン工業株式会社 役員待遇 人事本部 人事・労政・労務グループ長 今井 達也

目次

1. 会社概要
2. ダイキン情報技術大学設立の背景、狙い、概要
3. ダイキンにおけるデジタル人材について
4. ダイキン情報技術大学紹介

1. 会社概要

(2021年3月末現在)

会社名	ダイキン工業株式会社 1963年（昭和38年）大阪金属工業株式会社から社名変更
創業	1924年（大正13年）10月25日大阪市
設立	1934年（昭和9年）2月11日
資本金	850億円
グループ従業員数	連結84,870名（国内14,210）
会長・社長	会長：井上礼之 社長兼CEO：十河政則
本社	大阪市北区
グループ会社数	連結子会社315社（国内30社、海外285社）

事業内容

空調事業



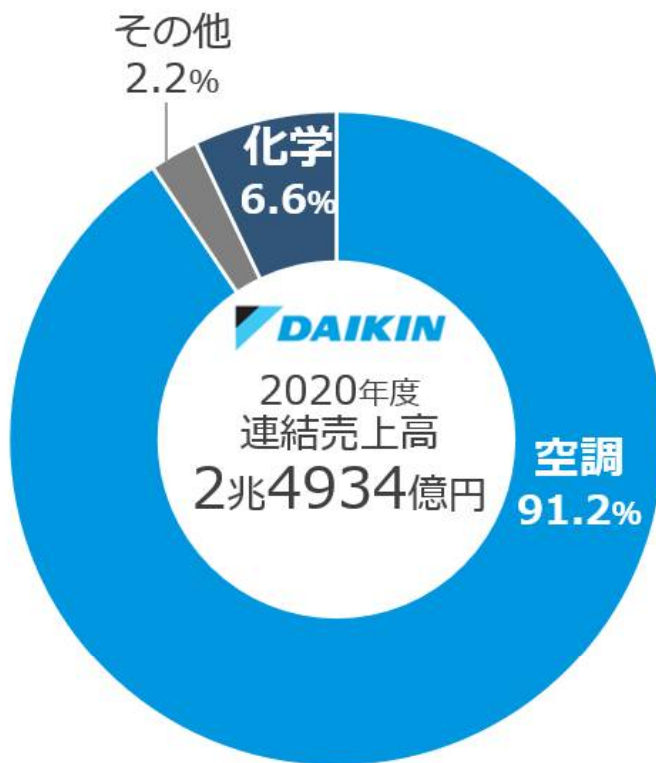
住宅用



業務用



サービス



その他事業



油圧機器



酸素濃縮機

化学事業



冷媒



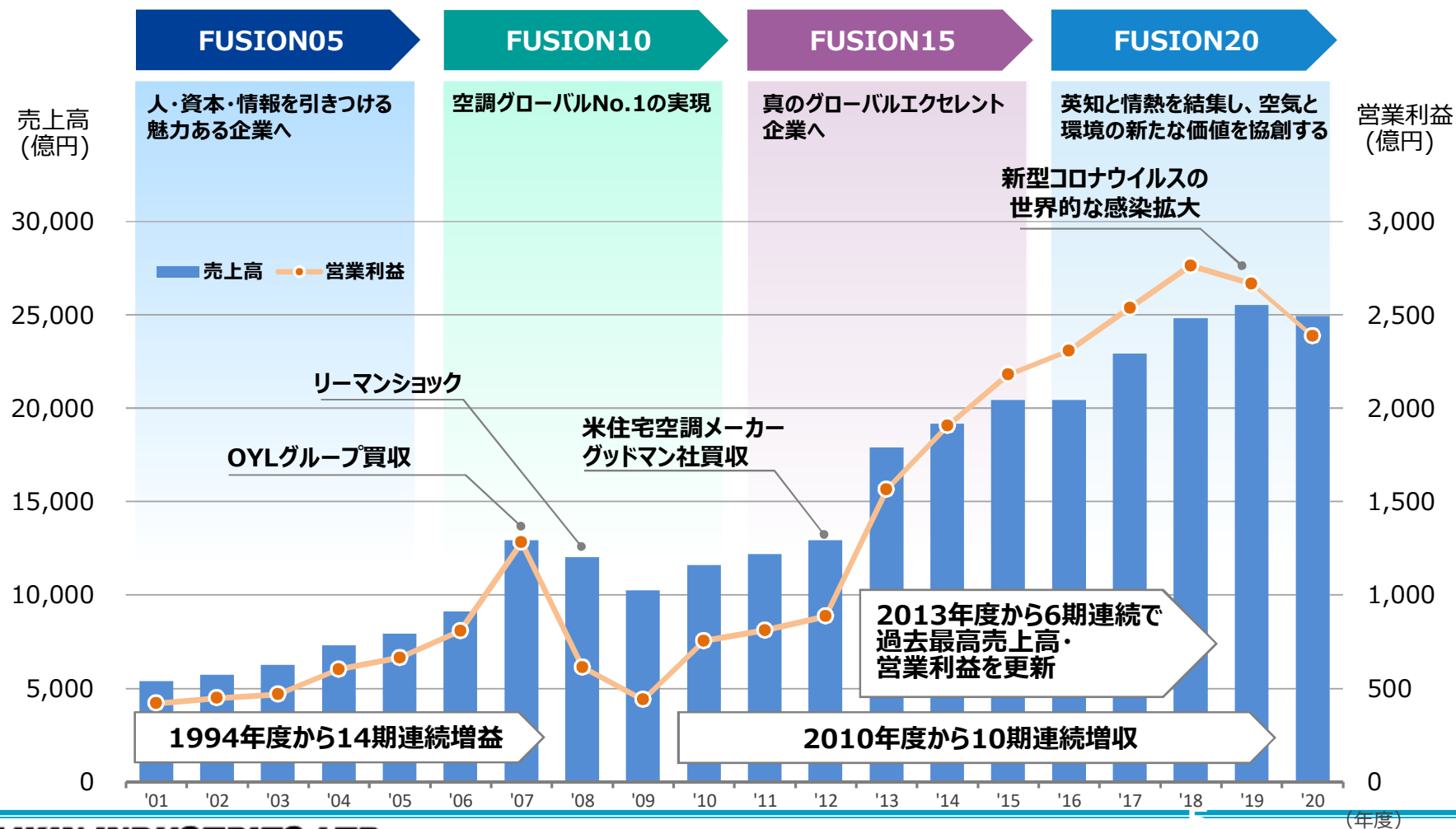
半導体用途



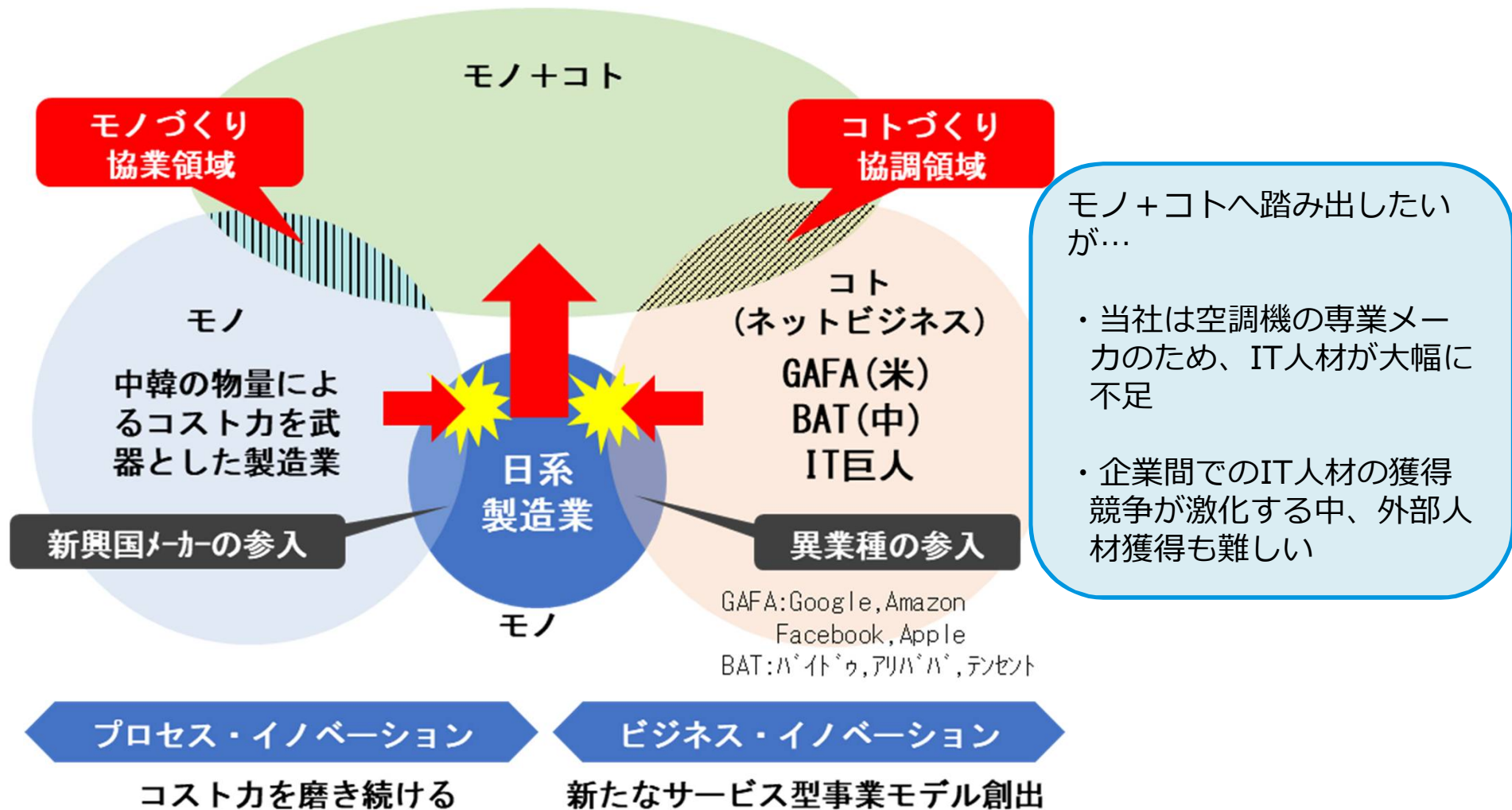
自動車用途

【参考】業績推移

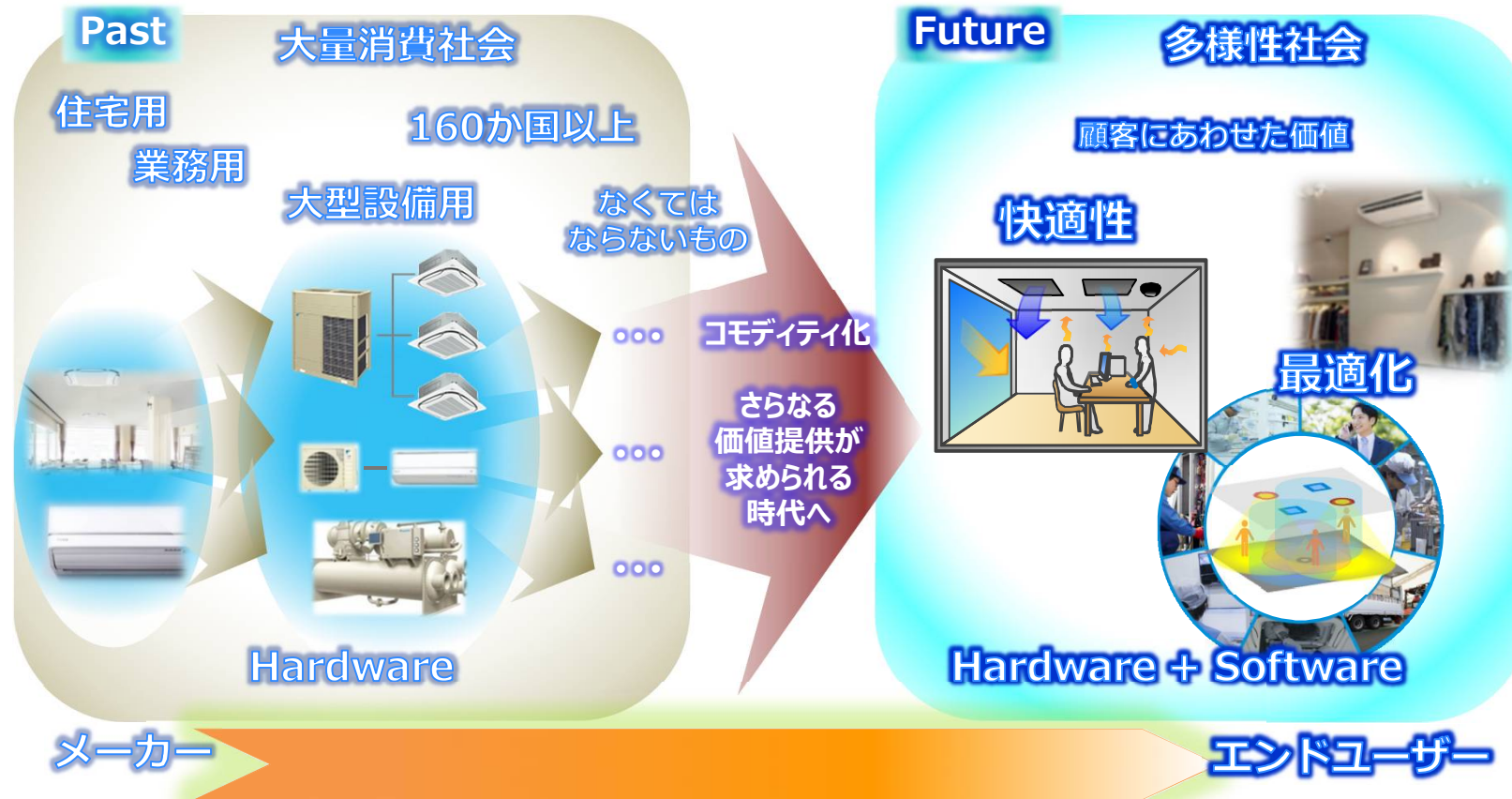
直近20年間で、売上高・営業利益ともにおよそ**5倍の規模に拡大**。
事業展開は160カ国以上、グループ従業員は8万人を超える企業に発展。
 グローバル事業基盤は一段と強固になった。



2. ダイキン情報技術大学設立の背景



2. ダイキン情報技術大学設立の背景



2. ダイキン情報技術大学設立の狙い・概要

◆ダイキン情報技術大学設立の狙い

AI・データ分析技術は、当社グループにおけるあらゆる部門での活用が期待される重要な技術であり、それを推進する人材の育成は喫緊の課題。

AI技術の活用を図るためには、

- ① AI活用（ビジネス提案力）
- ② AI技術開発（AIでの問題解決力）
- ③ システム開発（AI具現化力）

の3分野の人材がともに必要であるが、大学設立時点では質・量ともに不足しており、早期に強化・育成が必要であった。

ダイキン情報技術大学は、上記人材の計画的な育成を目的に**2017年12月からスタート**



3. 当社におけるデジタル人材について

『データサイエンティスト』 = 以下の3つの基礎スキルを兼ね備えた人材

データサイエンティストにもレベルがあるが、情報技術大学では、“独り立ち”レベルを目指す

①テーマ実行力（ビジネス力）

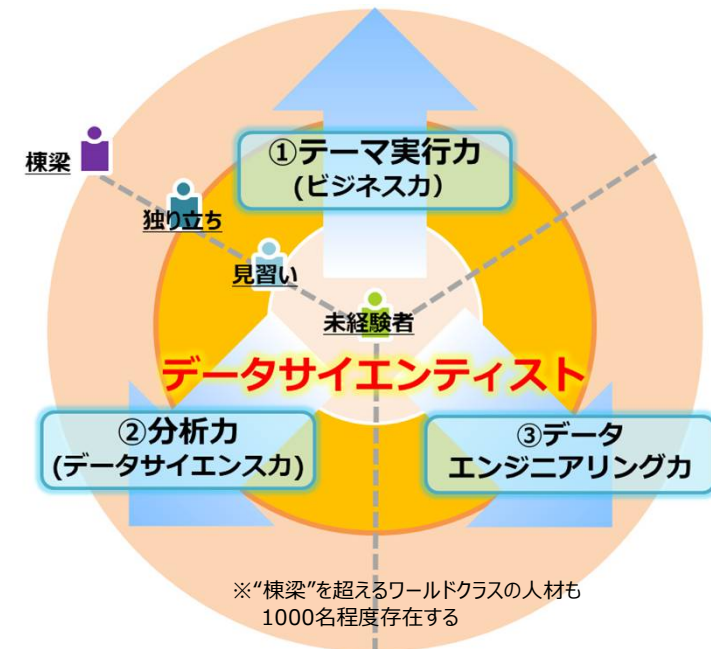
課題の背景を理解した上で、ビジネス課題を整理し、愚直に実行・解決する力

②分析力（データサイエンス力）

情報処理、人工知能、統計学など情報科学系の知恵を理解し、使う力

③データエンジニアリング力

データサイエンスを意味のある形に使えるようにし、実装・運用できるようにする力



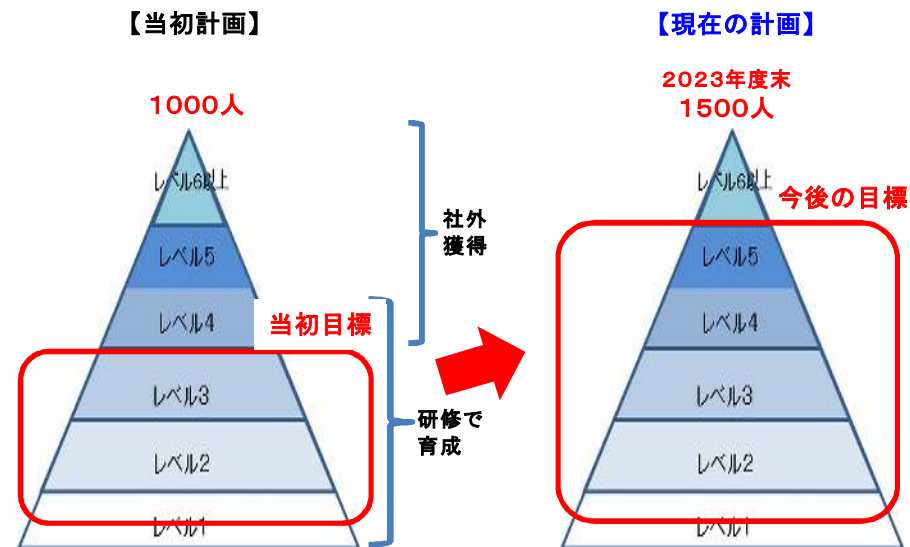
3. 当社におけるデジタル人材について

○ 3年半が経過し「デジタル技術がわかる人材」「できる人材」の育成は着実に進んできました。

○ 今後はこれらの人材が部門で活躍するために「テーマを企画・推進できるより高いレベルの人材の獲得・社内育成が最重要課題。

IPA※～スキル標準
レベル7 世界のハイエンドプレーヤ
レベル6 国内のハイエンドプレーヤ
レベル5 社内のハイエンドプレーヤ
レベル4 「テーマを作れる」
レベル3 「できる」
レベル2 「わかる」
レベル1 「知る」

※情報処理推進機構



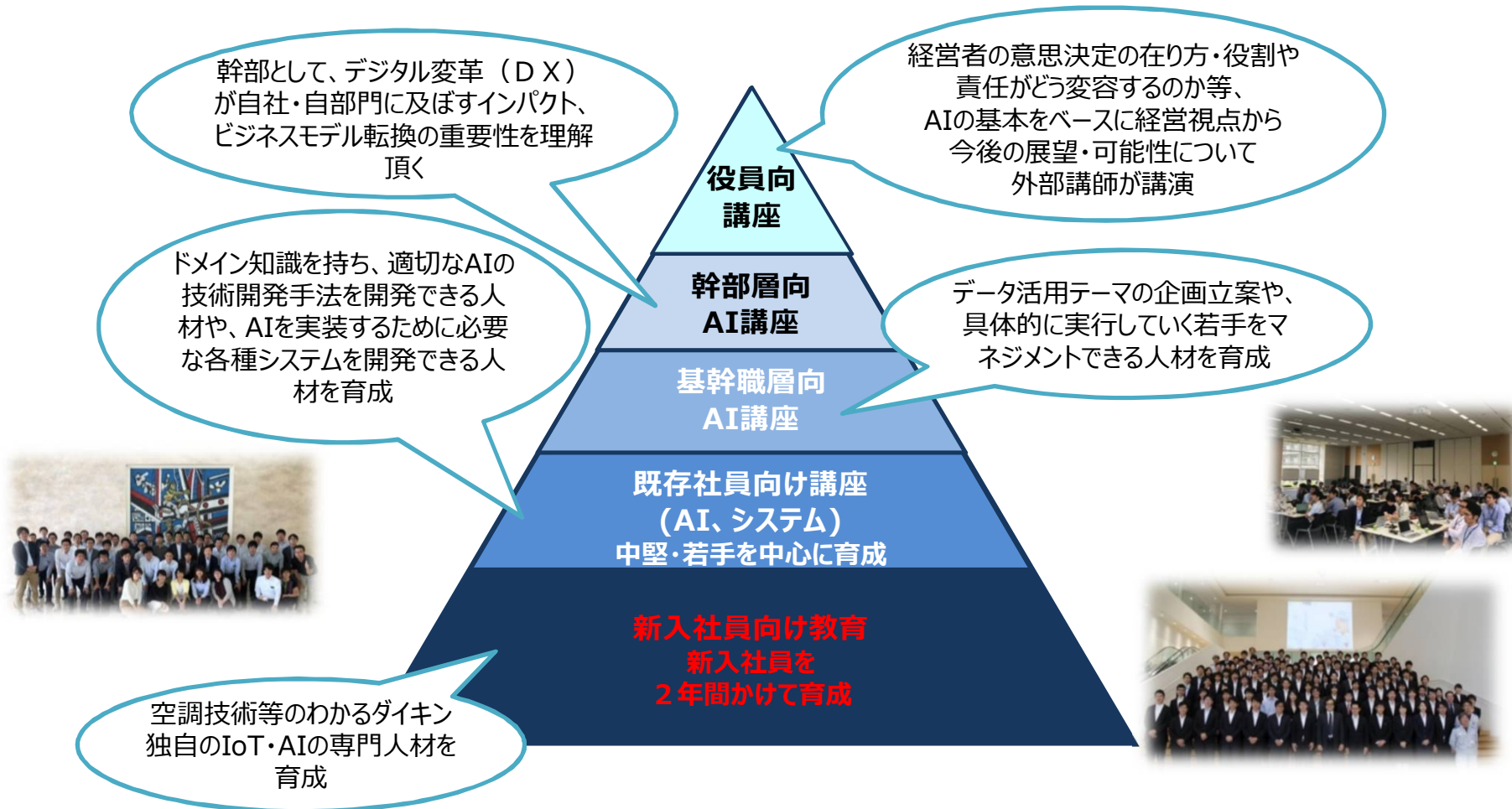
3. 当社におけるデジタル人材について



■ 最終的に目指す人材像

- ① 部門横断で、全社的視点からデジタル活用推進に取り組む人
- ② 従来の事業・サービス・商品の枠を超えたイノベーションを起こす人
- ③ 部門の固定概念を超えて抜本的な生産・開発・間接業務の改革に取り組む人

4. ダイキン情報技術大学 講座ラインナップ



4. ダイキン情報技術大学：新入社員講座

技術系大卒新入社員 300名弱の中から、希望者を100名選抜（2018年度～）
 （非情報系が85%。修士85%、学士15%）

